



平成30年7月12日  
日本原子力発電株式会社

## 敦賀発電所1号機用新燃料の輸送（返送）について

敦賀発電所1号機は、平成27年4月に運転を終了し、平成29年4月より廃止措置を開始していますが、新燃料貯蔵庫に保管していた新燃料※を下記のとおり燃料加工メーカーへ返送しましたので、お知らせします。

※使用済燃料貯蔵池内の新燃料のうち除染完了後、新燃料貯蔵庫で保管していたもの。

### 記

#### 1. 輸送年月日

平成30年7月11日 21時00分 敦賀発電所 発

平成30年7月12日 7時25分 株式会社グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン 着  
(神奈川県横須賀市)

#### 2. 輸送数量等

新燃料集合体	16体
輸送容器	8個

#### 3. 輸送物の種類

A型核分裂性輸送物

#### 4. 輸送方法

陸上輸送

以 上

#### <参考資料>

輸送における安全性について

## 『輸送における安全性について』

### 1. 輸送物の種類

A型核分裂性輸送物

### 2. 輸送容器の概要

型式：R A J - II 型 8個

形状：箱形

材質：ステンレス鋼製

### 3. 輸送物の安全確認

本輸送物（A型核分裂性輸送物）については、別添に示す国の安全基準を満たすことを、原子力規制委員会により確認されたものです。

### 4. 輸送上の安全対策

輸送にあたっては、車両への積付け・標識等、輸送上の十分な安全対策を実施しました。

なお、万一緊急の事態が生じた場合には、最寄りの消防・警察・自治体および原子力規制庁等に連絡するとともに、適切な措置をとることとしており、十分な安全対策を講じました。

以 上

## 『A型核分裂性輸送物の安全基準』

「核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律」第59条に基づき国が定めている『A型核分裂性輸送物』に係わる技術上の基準の主なものは、以下のとおりである。

### ①線量当量率

表面で、 $2$ ミリシーベルト/時以下  
表面から1m離れた位置で、 $0.1$ ミリシーベルト/時以下

### ②表面汚染密度

$\alpha$ 線を放出する放射性物質の場合、 $0.4$ ベクレル/cm<sup>2</sup>以下  
 $\alpha$ 線を放出しない放射性物質の場合、 $4$ ベクレル/cm<sup>2</sup>以下

また、A型核分裂性輸送物の試験条件には、

### ①一般の試験条件

水の吹きつけ試験、自由落下試験、圧縮試験、貫通試験

### ②特別の試験条件

9m落下試験、棒上の1m落下試験、耐火試験、浸漬試験

があり、これらの厳しい諸条件下においても、容器の健全性を維持し、臨界の防止を確保できるものとなっている。